

平成28年度

# 入学試験問題

学校法人 明星学園

浦和学院専門学校

看護学科

国語

(一般入試 Ⅲ期)

[注意事項] (試験が始まる前に読んでおくこと。)

- 1 受験票は机の上に表示された受験番号の横におくこと。
- 2 問題用紙は試験開始の合図があるまで開かないこと。
- 3 解答用紙に受験番号、氏名を正確に記入すること。
- 4 下敷の使用は禁止する。
- 5 試験終了時に解答用紙と問題用紙は別々に回収する。
- 6 試験終了後は試験監督の指示に従って行動すること。

※ なお、試験中に気分が悪くなった場合は試験監督に申し出ること。

一 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

人間は脳によって生物界を支配している

ここでまず、人間とはいったい何かという、ひじょうに大上段にかまえたところから、脳に関する話をはじめたいと思います。人間の機能は、おおまかに二つのグループに分けることができると思います。これをわたしは、体の機能と心の機能に分けて考えたいと思います。

A、わたしたちは無意識のうちに呼吸をしているし、心臓が動いています。これは明らかに体の機能です。食物を食べ、これを消化しますが、これも大切な体の機能です。体を動かしたり、スポーツをしたりする運動機能があります。さらに、①病<sup>ケン</sup>体が体に入ってくると取り除く②免<sup>エキ</sup>エキという機能もあります。これらをすべて含めて、体の機能ということができ  
るわけです。

これに対して、心の機能というのはどういうことでしょうか。たとえば、わたしたち人間は、ものを考える、記憶する、あるいは怒ったり喜んだり悲しんだりするというように、さまざまな a 精神の機能をもっています。それから別次元の精神の機能ということになると、「そうぞう」という現象があります。英語でいうイマジネーション、漢字で書くと想像、つまり空想することですね。もうひとつの「そうぞう」は、クリエイション、創造、つまりものを創りだすということですが、こういうことも精神の機能ということになります。

ほかにもいろいろありますが、このような精神の機能は、じつは人間にかぎられたものではなく、動物たちも多かれ少なかれもっています。

人間はその肉体的な機能においては、ある種の動物たちにくらべてとくに優れているというわけではありません。かけっこをすれば、犬や馬のほうが人間より速く走れます。力くらべをしても、牛やゾウのほうが圧倒的に強いのです。(a)これは、肉体的な機能を利用してそのような状態になっているのではありません。知力、思考力、創造力、あるいはひじょうに豊かな感情とか、その他さまざまな精神の機能をもってこの世界を構成し、科学技術を生みだして、これを利用して力で地球上に君臨しているのです。

おもしろい話があります。ニューヨークにブルックリン動物園というひじょうに有名な動物園があります。正門から入っていくと、広場があって、そこには大きな鏡があります。お客は動物園に入ると、とうぜんその前に立つことになりました。

鏡の一番上のところに「地球上でもっとも獐猛な動物」という③ヒョウ識が立っています。それはいったいどの動物なのでしょう。鏡に映っているあなた自身なのです。B、わたしたち人間です。(b)戒めを含んだジョークなのですが、このようにわたしたち人間は 1 能力を利用して、生物界に君臨しているということですが、

生物学の中で遅れをとってきた脳研究

では、人間に発達している、こういった精神的な機能の生物学的な④基<sup>バン</sup>はどこにあるのでしょうか。

これは、みなさんご存じのように、人間の脳にあるのです。つまり心です。昔は、心臓が精

神の機能に重要なはたらきをしていると思っていました。C「さまざまな研究が進んだ現在、精神の機能は、明らかに頭脳に宿っていると思つていいのです。このように考えると、人間の脳がどのようなにはたらくているかを研究することは、すなわち、「人間らしさ」といわれるものをはじめ、人間のもつとも進化した特徴を研究することになるのです。これはつまり、

2 ということを明らかにすることにもなりません。

「こういうことを言うと、読者のみなさんは、人間がどういふものか、自分がどういふ人間かということとは、自分でよくわかつていると思われるかもしれません。(c)ところが、じつはそうではないのです。その証拠にたとえば、子どもにどのような教育を与えたら知的で感性が豊かになるかということについて、わたしたちは確固とした知識はもっていないのです。残念ながら、試行錯誤しながら教育しているというのが現状です。それは、わたしたちが、人間の脳というのはいったいどのようにできていて、どのように発達して、その結果どのような精神的な現象を表現するのか、それがはっきりわかっていないからなのです。

D「わたしたちは、自分たち人間を 3 に観察して、その精神や心理について多くのことをすでに知っています。古くから、哲学や文学では人間の心の現象をテーマにして、議論がくりかえされ、数々の作品がつけられてきました。また、前世紀あるいは一九世紀の終わり頃から心理学という学問が発達して、心のはたらきについてさまざまな研究がおこなわれています。しかしながら、このような、いわゆる人文科学的な人間の精神に関する知識というのは、ひじょうに 4 で、かならずしも研究者どうしで意見の一致を見ない、知識としてはあまり確固としたものではないのでしょうか。わたしたち自然科学者から見ると、b 人文科学的なアプローチでは、人間が何者かということがわかったような気がしないのです。(d)

二〇世紀は、生物学がものすごい勢いで発展した時代です。とくに戦後、いわゆる分子生物学の研究が進んだことよって、わたしたちは飛躍的に体の機能についての知識を獲得しました。まず、遺伝子というものが、DNA という長い二重らせん構造をとる分子で構成されているということがわかって、それにもなつてさまざまな体の機能についてもわかってきました。

それに対して精神機能に関する生物学は、ひじょうに遅れをとっています。(e)二一世紀においては、この精神の生物学、つまり脳の研究が大発展を遂げるであろうと、わたしたちは考えています。そして近い将来、脳における生物学的な研究が、人文科学的なこれまでの精神の研究では成し遂げなかったレベルにまで、人類の知識を向上させるであろうと、わたしたち脳科学者は信じているのです。

(利根川進『私の脳科学講義』より)

問一 点線部①～④のカタカナを漢字に直したときと同じ漢字を用いるものをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 病ゲン体【解答番号は1】

- a ゲン流を探る。
- b ゲン因は不明である。
- c 増ゲンが激しい。
- d ゲン界を感じる。
- e ゲン影にまどわされる。

② 免エキ【解答番号は2】

- a 牛馬のごとく使エキする。
- b 利エキを生み出す。
- c 血エキ型をたずねる。
- d エキ者に占ってもらう。
- e エキ病が流行する。

③ ヒヨウ識【解答番号は3】

- a ヒヨウ現の自由がある。
- b 彼に多くヒヨウが集まった。
- c ヒヨウ的にされてしまうだろう。
- d 雑誌で酷ヒヨウされた。
- e 一週間ヒヨウ泊し続けた。

④ 基バン【解答番号は4】

- a バン石の基礎を築く。
- b 出バンを待つ。
- c 名誉バン回を決意する。
- d バン書する。
- e バン走者をつとめた。

問二 空欄A～Dを埋めるのに最も適当な語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

同じ記号は一度しか使えません。「Aの解答番号は5、Bの解答番号は6、Cの解答番号は7、Dの解答番号は8」

- a しかしながら
- b たとえば
- c つまり
- d たしかに
- e なかんずく

- 問三 傍線部 a 「精神の機能」とありますが、本文で述べられている精神の機能の特徴として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は9】
- a 他の動物にはないもので、人間固有の特徴である
  - b 思考や記憶、喜怒哀楽だけではなく、他の機能も含まれている
  - c それさえあれば地球上に君臨することができるものである
  - d 想像し、創造することのみを意味している
  - e 体の機能を補い、助けるものである

問四 空欄1にあてはまる語として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は10】

- a 絶対的
- b 相対的
- c 体力的
- d 知的
- e 精神的

問五 傍線部 b 「人文科学的なアプローチ」とありますが、本文で述べられている人文科学的なアプローチの特徴として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は11】

- a 精神的な機能の根幹となるものである
- b 人間のもつとも進化した特徴を研究するのに適したものである
- c 芸術の面において人間の心の現象をテーマにして得た知識だけを指す
- d 研究者どうしても見解が割れており、知識としてはゆらいでいる
- e 人類の知識を向上させるものである

問六 空欄2にあてはまる言葉として最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。【解答番号は12】

- a 肉体的な機能とは何か
- b 精神の機能とは何か
- c 心の機能とは何か
- d 人間の脳とは何か
- e 人間はいつたい何者か

問七 空欄3、4に当てはまる語の組み合わせとして最も適当なものを次の中から選び、記号で答えなさい。〔解答番号は13〕

- a 3 Ⅱ 相対的 4 Ⅱ 絶対的
- b 3 Ⅱ 絶対的 4 Ⅱ 相対的
- c 3 Ⅱ 客観的 4 Ⅱ 主観的
- d 3 Ⅱ 主観的 4 Ⅱ 客観的
- e 3 Ⅱ 主体的 4 Ⅱ 受動的

問八 本文のある箇所からは次の一文が抜けています。元に戻す場合に最も適当な箇所を(a)～(e)の中から一つ選び、記号で答えなさい。〔解答番号は14〕

△それにもかかわらず、人間は地球上において、他の生物種を支配して君臨しているともいえます。▽

問九 本文の内容と合致するものを次の中から一つ選び、記号で答えなさい。〔解答番号は15〕

- a 人間の機能は大きく二つに分けられているが、動物たちの持つ二つの機能と大差はない。
- b 人文科学的な精神の研究は、哲学や文学で多くの作品を生んでおり、今後の人類の知識の向上にとってもなくてはならないものである。
- c 精神機能に関する生物学はひじょうに遅れをとっており、人文科学的なアプローチがそれを助けると考えられている。
- d 人間の持つ精神の機能は他の動物たちとは大きく異なっているため、人間は生物界に君臨することができる。
- e 脳科学者たちは、脳における生物学的な研究が、人類の知識の向上へとつながるものであると考えている。

二 次の①～⑩の熟語の構成をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 尽力〔解答番号は16〕 ② 禁止〔解答番号は17〕

③ 暖流〔解答番号は18〕 ④ 永久〔解答番号は19〕

⑤ 贈答〔解答番号は20〕 ⑥ 無謀〔解答番号は21〕

⑦ 互助〔解答番号は22〕 ⑧ 観劇〔解答番号は23〕

⑨ 美醜〔解答番号は24〕 ⑩ 租税〔解答番号は25〕

- a 同じような意味の漢字を重ねたもの。
- b 反対の意味の漢字を重ねたもの。
- c 上の字が下の字を修飾しているもの。
- d 下の字が上の字の目的語・補語となっているもの。
- e 上の字が下の字の意味を打ち消しているもの。

三 次の熟語の対義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 理論〔解答番号は26〕 ② 削除〔解答番号は27〕

③ 実在〔解答番号は28〕 ④ 専任〔解答番号は29〕

⑤ 暴落〔解答番号は30〕

- a 実践 b 架空 c 兼務 d 高騰 e 添加

四 次の熟語の類義語をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 沿革〔解答番号は31〕 ② 交渉〔解答番号は32〕

③ 回顧〔解答番号は33〕 ④ 盛衰〔解答番号は34〕

⑤ 親友〔解答番号は35〕

- a 談判 b 追憶 c 変遷 d 興廃 e 知己

五 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

① 五里□中〔解答番号は36〕 ② 粉□碎身〔解答番号は37〕

③ □切合切〔解答番号は38〕 ④ 傍若□人〔解答番号は39〕

⑤ 千客□来〔解答番号40〕

- ① a 無
- ② a 骨
- ③ a 一
- ④ a 不
- ⑤ a 晩
- b 霧
- c 夢
- d 六
- e 散
- b 身
- c 心
- d 体
- e 末
- b 十
- c 百
- d 千
- e 万
- b 無
- c 部
- d 武
- e 侮
- b 板
- c 行
- d 往
- e 万

六 空欄に入る適語を次の語群から選び、それぞれ記号で答えなさい。

- ① のれんに□押し【解答番号は41】
- ② □心あれば水心【解答番号は42】
- ③ □子にも衣装【解答番号は43】
- ④ 怪我の□名【解答番号は44】
- ⑤ 木で□をくくる【解答番号は45】

- ① a 足
- ② a 海
- ③ a 馬
- ④ a 有
- ⑤ a 鼻
- b 手
- c 腕
- d 肩
- e 腕
- b 親
- c 魚
- d 水
- e 火
- b 孫
- c 親
- d 長
- e 娘
- b 功
- c 巧
- d 高
- e 項
- b 手
- c 足
- d 腕
- e 目

七 次の①～⑤の傍線部の活用の種類として最も適当なものを次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。ただし、同じ記号を何度用いても構いません。

- ① 話した内容を覚えていますか。【解答番号は46】
- ② 親子で顔がよく似ている。【解答番号は47】
- ③ 先週の日曜日に遊園地に行つた。【解答番号は48】
- ④ ここに名前を書いてください。【解答番号は49】
- ⑤ 車を運転してもらえませんか。【解答番号は50】

- a 五段活用
- b 上一段活用
- c 下一段活用
- d サ行変格活用
- e カ行変格活用